

## しのばず自然観察会より 2024-11 2024.11.02

### 2024年11月の活動 不忍池 定点観察 11月12日(日)



集合:午前10時 不忍池 蓮池南西端  
緑の小旗あり(野外ステージ西側、湯島  
天神下交差点寄り)  
今回は雨天中止  
持物:筆記用具、双眼鏡、飲み物、雨具  
(マスク、敷物、昼食)  
解散は午後1時頃ボート池畔または藤棚  
参加費不要 非会員の参加も歓迎

**12月の活動は22日(日)、不忍池水鳥個体数調査の予定です。**

### 不忍池定点観察 2024年 10月13日(日)より

10月半ばに近づいて、ようやく涼しい日  
が訪れ、13日は秋晴れ、野外活動にうって  
つけの陽気のもと、8名が参加しました。

蓮池のハスの葉は黄色みを増し、アシの  
穂波が揺れていました。蓮池で、密生した  
ハスの葉柄の水際に波紋が続くので、目を  
凝らしていると、カイツブリの成鳥が見つかり  
ました。まだカモは来ていないみたいなど  
と話していると、たくさん出ているボートの  
間に、キンクロハジロのオス1、オナガガモ1  
0。オナガガモは換羽前で、オスとメスとの  
識別が難しい色合いでした。不忍池ではカ  
ワウが繁殖期を迎えつつあります。



色づいたアシの穂

しのばず自然観察会 事務局 〒110-0001 台東区谷中3-1-9 小川潔 方  
1975年創立 電話 03-3828-8775 URL:<http://sinobazu.extrem.ne.jp>  
郵便振替 00100-8-84609 しのばず自然観察会 年会費 2,000 円

\*\*2023年以前の会費未納の方もお忘れなく!退会の場合は早めに葉書で事務局へ\*\*



換羽前のオナガガモ(オス)



堰を超えて蓮池(左手)から動物園池(右手)へ水が流れる

確認した鳥:カルガモ、オナガガモ、カワウ、カイツブリ、コサギ、ムクドリ、ドバト、スズメ、ハシブトガラス、上空に種類判別ができなかった猛禽類

その他の動物:コイ、イチモンジセセリ、キタキチョウ、ヤマトシジミ(蝶)、ナミアゲハ、アオスジアゲハ、ホシホウジャク、種類判別ができなかったトンボ

開花・結実:カヤ、ジュズ、アシ、マコモ、シマスズメノヒエ、雑種タンポポ、セイタカアワダチソウ、カタバミ、園芸カタバミ(紫色の葉)、ノゲシ、ムクゲ、タチアオイ、ツククサ、カンナ、メヒシバ、オヒシバ、ヘラオオバコ、ヤブラン、アベリア、イヌタデ、イヌビワ、ツバキ、エノコログサ

## しのばず自然観察会50年史 進捗状況

原稿がほぼそろってきたので、これから出版社と連携して、文章・画像のレイアウト、装丁ほか編集作業が本格化します。10月の活動参加者に、原稿を読んでもらう分担任をしました。表紙の案を募集中です。しのばず自然観察会創立 50 周年に当たる2025年9月15日が出版日の目標です。残りあと10か月です。編集、校正、運搬・発送等、皆さまの力をお貸しください。(小川潔)

## 2024年10月13日の観察会から 小川千恵子

9:10 晴 日向は少し暑い。

ドバト15羽、ハンノキの下に。ボート池北側のジュズダマの実はいっぱい。葉や茎は白っぽい茶色。枯れている？葉丈は30cm位で、ほぼ全部がこの状態。ヤマトシジミが飛ぶ。

ひっくり返したボートの西から6つ目に6匹の大きなカメが、皆頭を西に向けて並んでいる。東からの太陽に甲ら干しか？

カワウが池面を南から西北へ、そして東へ飛んで行く。カモは1羽も見られない。まだ、飛来していないのか？また別のカワウがひっくり返したボートの手前(北)を泳いで潜って、柳様の枝をくわえて出て来て西へ飛び、ぐるっと回って東から北へ。ウの人工島方向へ。巣作り？

シマスズメノヒエ、メヒシバ、ヤブガラシ。カジノキ1本。茎が長く小さめの花のタンポポ2輪。黄色い小花の植物が2株。何？。ヤマトシジミ2頭飛ぶ。緑のままのジュズダマ1株発見。ヘビイチゴの葉群が広がる。

ハンノキまで戻る。すぐ近くのベンチに男性が1人座っている。何故か、ドバトとスズメが寄り添って来ている。気になったので、見ていると、ドバト8羽、スズメ4羽が寄り添って来ると、上着のポケットから手を出してパラッと細かな何かをまく。鳥達はつつく。鳥は1~2羽ずつ増えてくる。時々パラッとまく。

カワウが南から飛んで来て、ハンノキの枝の中に入り、なかなか出て来ない。姿は見えない。

1~2才の男の子がトトッと池めがけて走って来て、手すりをつかみ、「ウミ！ウミ！」と。おもわず頬がゆるむ。

ガンジンの手前は丈20~30cmのヘラオオバコ、エノコログサ。像の南側に咲き終わったヒガンバナが10本。ベンチ前の手すりの池側にも何株もある。

サクラカンザンの下はメヒシバが多数、オヒシバが1株。(今年はオヒシバが、とても少ない。)その他、イネ科の植物。謎の丸い葉群は勢力拡大。

テラス少し手前の池にカワウが低飛行で東へ飛ぶ。もうボートが出ている。スワン型が5艘。ボート間で、大声で英語が飛び交う。

テラス前の池側は丈30~40cmのイネ科植物。カタバミ、シマスズメノヒエ。丈5~10cmの細い草は何？。ヤブガラシ。トンボが飛ぶ。タチアオイ40~50cmの葉丈、緑色で、刈られた後に伸びてきた物らしい。

池の中の鉢に黄色いセイタカアワダチソウが咲く。6鉢中4鉢に花が見える。ガマの穂は茶色で、2鉢に在る。

樹陰は涼しいが日向は暑い。風がある。

タチアオイ、虫に食われて穴だらけの緑の葉は40~50cm丈で、中に一輪赤い花が咲く。

ひっくり返したボートの上はカメ1、ドバト1。上をカラスが3羽飛ぶ。池の水量が多い。先月見たアオサギが立っていた位置は水の中、30~40cm増えている？カワウが潜って出て、潜って出てをくり返している。桜の茶色になった葉がアチコチに落ちている。

## 集合地

アベリア(マ拔けのアベマリアと覚えるらしい)の花が咲いている。ドバト20羽程、交差点方向に集まる。自転車に乗ったオレンジ色のパーカーを着た人が、自転車を止めて、ポケットに手を入れて出し、さっと餌をまく。スズメも寄り添って来てドバトと一緒に食べる。少しするとまたポケットに手を入れ餌をまく。ドバトは30羽にふえ、スズメもふえている。信号が変わると自転車をこいで交差点を渡って行く。交差点を渡って来た人々はドバト達の集りをよけて、歩いて来る。ドバトもスズメも人々を気にしている様子は無い。

蓮は葉の上にハチスは見えず、折れた？目の前は少し丈が低く、葉は黄色や茶色に変色。桜の葉は数が少なくなり、黄色の葉がチラホラ見える。カンナは黄色のしおれた花が一輪残る。

白い花のタチアオイは2輪。他のタチアオイは先端に実がいっぱい。それが枯れているものもある。足元にはツユクサ。オシロイバナは赤と白。菊の葉丈は1mを超えた。

ヤマトシジミ2頭飛ぶ。4月にジャーマンアイリスが見られた南側の植え込みには咲き終わったヒガンバナの株があちこちに点在。赤紫の大きな葉でピンク色の花のオキザリスはまだ咲いている。



葉が紫色、花はムラサキカタバミに似た薄いピンクのオキザリス

### 野外音楽堂

シマサルスベリには緑の実が付いている。園芸種のキョウチクトウはまだ咲き、蕾もある。イヌビワには赤い実がなっている。(実がシワの形に似ているからイヌビワ、と潔)調べると、犬枇杷、イチジク属、雌雄異株、ビワほど美味しくないののでイヌビワ。毒性は低いが皮膚刺激を起こすとある。

音楽堂北の蓮は私の背丈を超し、池の中の方は全く見えず。カイツブリが蓮の葉柄の間の水面を潜っては出て、また潜るをくり返している。

### 浮き橋

アシに花穂が付く。穂は緑だが、先が赤っぽく見える。浮き橋の北側から池の蓮は見渡せる。中に首を折ったハチスが、風で葉が揺れた時に見える。

浮き橋に囲われた池の蓮は背が高く、中も池外側の通路も見えない。緑と茶色が混在。

カワウが飛ぶ。上空を旋回している。スズメも活発に飛びかう。黄色い蝶が飛ぶ。橋を出たところにタンポポ1輪咲く。

下町風俗資料館はコーンが立って、立入禁止のまま。

河津桜の枝先の葉は少なく、幹に近い方にはまだあるが、黄色に変色。下に白と黄色にオシロイバナ。

コロコロと虫の鳴き声エンマコオロギ、と。もう一種鳴き声あり。アキニレには実が付いていた。上の方の葉がほとんど無いツメイヨシノは枝も折れている。折れた2本の枝上にそれぞれ1羽ずつドバトがとまる。

エノコログサ、シマスズメノヒエ。ヤマトシジミが飛ぶ。

キクモモの枝先にトンボがとまる。タイリョウザクラに新しい赤っぽい葉が出ている！緑のタグは何だろう？と、Mさん。525と書かれている。青いツユクサ、黄色のカタバミ。

蓮池に水が流れ込んでいるところは、その水流に押されてこげ茶色の枯れ枝や葉等が多数、蓮の葉柄が立つ水際に寄っている。水面は南と西に広がるが、北は水の流入口あたりまで蓮が密生している。

弁天堂入口をに入って、弁天堂前あたりで上を見ると猛キン類が1羽が上昇気流に乗って旋

回しながら上って行き、北の空へ。

弁天堂でヒヨドリの声。八重の椿の仲間は背が伸びて、下の方には花が咲く。以前、お茶か椿か？と話題になった椿の小さい木2本は無くなっている。

### 大藤棚

紫色のヤブランは咲き続けている。ジュズダマは刈られたが、低い緑の葉が出ている。ユッカは蕾の茎が伸びて、葉の上に飛び出ている。6本。柿の実はオレンジ色に変わっている。鳥達がつづいている様子が無いので渋柿ではないか？と。

弁天堂を出て北の桜の木の下にハギの葉がある。そこに白っぽい少し小さめの蝶。キタキチョウ、と。調べると、キタキチョウの幼虫の食草にハギが入っていた。

橋から動物園の中を見るとインソップ橋に人が多数。落羽松は実がたれ下がる。

ボート事務所前を南下する。すぐにドクダミの葉の中に光っている緑の葉を見つける。これがチドメグサ、と。

ボート池にはボートがいっぱい出ている。朝には全くみられなかったオナガガモ9羽がゆっくり南下している。それに続いてキンクロハジロが1羽ついて泳ぐ。カルガモ2羽もいる。「キンクロ1羽だけ？オナガガモについて来ちゃった？」と心配の声。(10月15日、たくさんのボートが浮かぶ中、池のまん中をキンクロのペア1組が悠々と泳いでいた！ご安心を)



キンクロハジロ(オス)



小なおかき(せんべい)のような  
アキニレの実



ハギの葉上で産卵行動中？の  
キタキチョウ

コサギ1羽が陸の上に上がって、岸のへりを歩いて、黄色い足先を後ろに伸ばして北へ飛ぶ。

ボート池の南を西へ曲がると急に風が強い。水面が広いからかと思ったがビル風とのこと。

### テラス

ムクドリ1羽ベンチの後にいる。ボートは30艘以上出ている。